新広報伊方町

発行所
愛媛県西宇和郡
伊方町
編集
伊方町町長公室
印刷所
尾上印刷所
八幡浜市天神通
電話②0091番

議長に中元氏　副議長は高野氏

大本助役、城岡収入役再任

初議会開かる

改選後の新選長による初議会の第六十五回定例町議会は五月八日から十三日までの会期六日間で開会され、議長に中元清吉氏、副議長に高野遠氏がそれぞれ選出されました。

また、助役に大本亀夫氏、収入役に城岡武夫氏を再任。

議会選出の監査委員には、明神紀男氏を選任しました。

議会の常任委員会は、総務厚生委員会、産業建設委員会の二つにわかれていますが、このほかに議会運営委員会があります。

それぞれ委員会の議員構成は、つぎのとおりです。

総務厚生委員会
委員長　佐々木　勝
副委員長　篠川英一
委員　加藤惣一　木戸市弘　山本清

産業建設委員会
委員長　米沢彦志
副委員長　山下朝則
委員　樫尾寛　高野遠　堀内津喜美　明神紀男　高田健一　永井隆英　矢野吉衛

議会運営委員会
委員長　山本清
副委員長　堀内津喜美
委員　佐々木勝　米沢彦志

議会選出監査委員
明神紀男

円滑な議会運営を

伊方町議会
議長　中元清吉

初夏の候を迎え、みなさまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、わたくしごとこのたびの地方選挙にともない、改選後の初議会において議会議長に選ばれ就任をいたしました。

いまさら申し上げるまでもなく現下の流動する政治、経済界のなかにあって、わたくしたちをとりまく生活環境はきわめてきびしいものがあります。

また、町におきましても当面する幾多の諸問題が山積いたしております。

このときにあたり、議会のもつ役割りも、まさに重大であることを痛感いたしております。

まことに、微力ではございますが、町政の推進と円滑な議会運営に専心努力をいたし、みなさまのご期待にそいたいと覚悟をあらたにいたしております。

こんごより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして就任のごあいさつといたします。

高野遠副議長
生年月日　大正十二、三、八生
職業　会社役員
略歴　町議会議員　二回当選
前総務厚生副委員長
元町見農業協同組合理事

中元清吉議長
生年月日　昭和三、五、三生
職業　会社役員
略歴　町議会議員　二回当選
元西宇和郡連合青年団長
元西宇和砂利組合長
元町商工会理事
前総務厚生委員長

住民総参加の行政推進

伊方町長　山本長松

町民のみなさまには、ますますご健祥のこととおよろこび申し上げます。

このたびみなさま方のご支援によりまして、町長に三度就任いたしました。

衷心より厚くお礼申し上げます。

このうえは、過去八カ年にわたる町政のうえに、こんご一層の努力をいたし、みなさまのご期待にむくいますよう心を新たにして、一生懸命職責を果してまいりたいと存します。

現今の社会情勢はまことにきびしくあります。それと併せて中小企業の育成、近代化をはかり、生産と消費のバランスのとれた町づくりを進めることであります。

第四には「明るく豊かな生活環境の整備」であります。

全町民が幸福な一生を過せる家庭であり、部落であり、町でありたいと願うものであります。

以上の四点の実現のため積極的な施策を進めてまいる所存であります。

こんご、町民各位のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ所感の一端を述べ就任のごあいさつといたします。

農山村の将来はいよいよむつかしくなると存しますが、将来を洞察し、忍耐強く課題と積極的にとりくみ、住民総参加の自治行政を進めて参りたいと決意いたしています。

まずその第一として、原子力発電所建設に伴う諸問題の解決であります。

第二に過疎化現象の進む農村地帯として、あすの伊方町の町づくりをどうするか、その担い手が青少年にあることを認識し「あすの伊方を担う青少年の育成」に力を入れることであります。

第三には当町の経済基盤が農林水産業にあり、その振興と近代化をはかり「生産の環境基盤を強化する」ことであります。

大本助役

城岡収入役

助役の大本亀夫氏は、昭和十八年十二月伊方村役場内の農業会臨時雇として就職、その後軍隊生活をへて二十一年四月伊方村役場に就職、二十七年伊方村教育委員会事務局長、合併後庶務課長、三十一年総務課長をへて、三十四年教育委員会に出向、社会教育主事、教育次長などを務め、三十八年助役に就任し今回で三期目です。

収入役の城岡武夫氏は、昭和二十一年町見村農業会専務理事に就任され、昭和二十二年町見村議会議員に当選、二十六年町見村収入役に就任、三十年合併後は税務課長、三十一年財務課長、三十四年役場を退職され、三十六年教育委員会委員に就任、三十八年収入役になられ今回三期目の就任です。

参議院議員選挙

投票日　六月二十七日

六月二十七日は参議院議員通常選挙の投票日です。

過去の参議院議員選挙は、とかく低調で有権者の関心がうすいとよく言われております。

そこで国では「一億国政総参加運動」を展開しております。

選挙が明るく正しく行なわれるよう一億の国民が国政に対する関心を強め、参議院の国政上の占める重要性を十分認識して有権者がこぞって自覚ある一票を行使するよう必ず投票に行きましょう。

今回の選挙時登録の基準日は六月一日と定められ、六月三日名簿に登録される人や、名簿から抹消される人の決定が行なわれます。

新しく登録される人は、六月二十七日に満二十年に達する人と、町外から転入された人で、役場に転入届をした日から六月一日までの間が三カ月以上ある人です。

また、転出してから六月二日まで の間に四カ月以上経過した人は今回名簿から抹消されます。

投票用紙をとりちがえなく

地方区	黒
全国区	赤

参議院議員の選挙は、地方選出議員と全国選出議員の投票を、それぞれ別の投票用紙で投票することになります。

そこで投票用紙は地方選出議員を先にわたします。用紙の印刷文字の色は黒です。

この投票を終えてから赤文字印刷の全国選出議員の投票を行なってください。

不在者投票の制度を活用しましょう

出張、病気、やむを得ない旅行などの理由で投票日に投票所へ行って投票することができない人のため、前もって投票ができるように特別に設けられているのが、この不在者投票の制度です。

このように一般投票の例外的な制度でありますので、一定の手続きが定められています。

くわしいことは、町の選挙管理委員会へお問い合せください。

住宅資金の受付はじまる

住宅金融公庫の昭和四十六年度個人住宅建設資金の受付がはじまりました。

この資金を利用して住宅を建設しようと希望される方は、つぎのような内容になっていますので、取扱店でご相談ください。

◉貸付の種類
一般個人住宅、農山漁村住宅

◉申込受付期間
四月二十日～九月三十日まで
ただし、一般個人住宅で建物資金と土地資金を併せての貸付は、六月十九日まで。

◉選定方法
受付日順により選定する。

◉貸付の最高限度額
・住宅
一般個人住宅
木造の場合八十万円　四八㎡
耐火構造　百五万円　五十㎡
農山漁村住宅
木造　百万円　六六㎡
耐火構造　百二十万円　六六㎡
・土地
最高限度額二十万円（土地資金は、一般個人住宅で土地区画整理事業施行地区内の土地であって、昭和四十四年四月一日以降に購入したものであること）

◉貸付利率、返済方法
年利率　五分五厘
元金均等割賦償還で毎月払い

◉返済期間
木造の場合　十八年以内
耐火構造の場合　三十五年以内
簡易耐火の場合　二十五年以内

◉取扱店
伊予銀行伊方支店

新しい区長さん

区長会会長　二宮泰慶（奥）
副会長　政木吉春（湊浦）
（敬称略）

大浜	黒田段栄	
中之浜	中田勝美	
仁田之浜	渡辺保隆	
河内	福山賢一	
湊浦	政木吉春	
湊浦二	守田博	
小中浦	井上藤樹	
中浦	山下初	
川永田	高橋穣	
川永田二	登口千代治	
豊之浦	上田徳三郎	
伊方	神野清由	
越	大沼和明	
亀浦	二宮泰慶	
奥	藤原一義	
向	山本正和	
畑	山口幸由	
久保	根来駒雄	
西	山田一則	
二見	古田光男	
加周	玉井政年	
田之浦	池田六郎	
古屋敷	塩崎頼雄	
大成	岩井富繁	
鳥津		

青年団・婦人会　新役員紹介

◎伊方町青年団協議会
会長　畑中芳久（仁田之浜）
副会長　波戸福一郎（大浜）
〃　脇田市郎（須賀）
〃　岩井千恵（小中浦）
〃　二宮清美（畑）
事務局長　上野修二（河内）
次長　菊池博史（西）

◎伊方婦人会
会長　井上茂子（中浦）
副会長　矢野三智子（大浜）
書記　泉ハル子（大浜）
会計　山口福美（河内）

◎町見婦人会
会長　古田リツヱ（田之浦）
副会長　山下マサ子（田之浦）
〃　水上マキ子（奥）

ゴミ処理場が完成

町内美化めざす

7月から収集開始

川永田宿名峠の国道端にゴミ処理場が完成しました。

このゴミ処理場は一日の処理能力五トンを有する焼却場で炉体工事、敷地造成搬入道路建設費を含めますと総事業費一千百四十八万円もの事業になります。

本町には現在まで、ゴミ処理施設がなく、ほとんど各部落の川とか海、または自家処理を行なっていましたが、環境衛生的にも不衛生で悪臭の原因となり、ネズミの巣にもなり、カ、ハエの発生源となっていました。

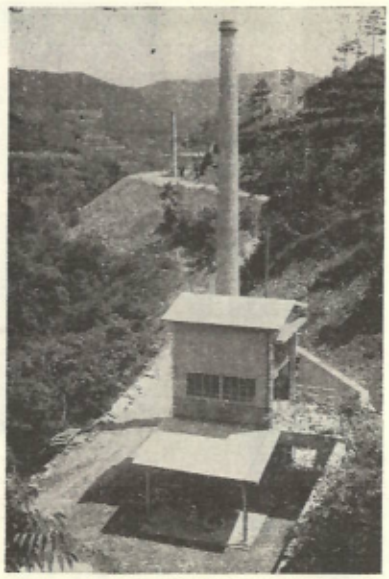
こうしたゴミの山は美観上からも決してよいものではありません。

そこで町では、町内美化をめざして、地域を明るく住みよい環境をつくるよう七月からゴミの収集を開始することになりました。

町内のゴミを収集するため、回転式収集車（二トン車）を百五十八万円の費用をかけ、同時に購入しますが、この収集車にはオルゴールの音楽が流れ、ゴミ収集を知らせます。

しかし、せっかく収集車がきても町内のみなさんが、指定された場所にゴミを袋に入れてだしていただきませんと何にもなりません。この事業を成功させるためには、町民のみなさんのご協力が絶対必要です。

ゴミ処理場の操業開始とともにゴミは川や海などへは捨てないように、町内をみんなの力で美しくしましょう。



町内のゴミ処理を一手に引き受ける焼却場の全ほう

収集は週二回

本町のゴミ収集方法は、燃えるゴミについては週二回、燃えないゴミ、空かんなどは原則として月一回収集されます。

そこで収集方法や、収集地区など計画されている点をつぎに掲載しました。

収集方法

回転式収集車（二トン車）で収集

◎燃えるゴミ

週二回袋収集

収集日当日指定の時間までに、指定の場所までゴミを袋に入れて持参してください。

◎燃えないゴミ

原則として月一回収集（ビン、空かんなど）

道路沿い指定の場所へドラムカンを配置しますので各家庭で持参し入れてください。

◎各部落の指定時間、場所

各部落ゴミ収集の指定時間については検討中ですが、場所については、部落区長さんと相談のうえ決定します。（各部落二～三カ所程度）

収集地区

第一日目

大浜、中之浜、仁田之浜、河内の一部、湊浦一、伊方鵜、亀浦

第二日目

湊浦二、小中浦、中浦、川永田一、川永田二、豊之浦の一部、奥、向

第三日目

畑、須賀、久民、西、二見、加周、田之浦、古屋敷、大成、鳥津

燃えるゴミについては袋収集となっていますので、各家庭にある肥料袋、その他の袋の廃品などを利用して、口をしっかりしばって指定場所へ持参してください。

もし収集袋を希望される家庭では町であっせんいたします。

善意箱

中学校へ雑巾

日赤奉仕団伊方町支部

日赤奉仕団伊方町支部（小川冊子委員長）では、雑巾を各校、学校で有効に使用してほしいと教育委員会へ寄贈しました。

教育委員会は、この善意の雑巾を伊方、町見両中学校へ配付することにしています。

紙上より厚く感謝申し上げます。

青年団員が献血

伊方町青年団協議会では、五月二十九日伊方小学校で団員約六十人が献血を行ないました。

これは県赤十字血液センターの来町で献血を呼びかけたところ、自分たちの血を役立てほしいと献血したものです。

ここに愛の献血にご協力いただきましたみなさんに、紙上より厚くお礼申し上げます。

広報編集に多額の寄付金

東大阪市玉串町西一の二の三十二にお住いの大山泉氏（伊方越出身）より一万円。

東京都太田区田園調布一丁目三十、八ノ一〇六号にお住いで電子光学株式会社代表取締役の要職にある大星内次氏（川永田出身）より一万円。

山口県山口市中園町四の二十四にお住いの山下月吉氏（湊浦出身）より三千円。

大阪府門真市横地五四一、高杉文化住宅一〇七号にお住いの山口美明氏（河内出身）より二千円。

北九州市八幡区上津役上原で山口建設を経営されている山口繁明氏（二見出身）より二千円。

尼崎市七松町二丁目十七の二にお住いの大黒良一氏（大浜出身）より二千円。

それぞれ広報編集の費用にと多額のご寄付をいただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともにご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

人

昭和46年4月末現在　世帯数　2,450戸

人口　9,299人　{男 4,427人 / 女 4,872人}

えんむすび
昭和46年3月1日～3月31日

お誕生おめでとう
昭和46年3月1日～3月31日

おくやみ
昭和46年3月1日～3月31日

えんむすび
昭和46年4月1日～4月30日

お誕生おめでとう
昭和46年4月1日～4月30日

おくやみ
昭和46年4月1日～4月30日